



日本政策金融公庫



農林中央金庫

2022年8月17日
株式会社日本政策金融公庫熊本支店
農林中央金庫福岡支店

2020年7月県南豪雨災害で被災した製材加工施設の 災害復旧を支援(球磨村森林組合)

～日本政策金融公庫と農林中央金庫が連携～

日本政策金融公庫（以下「日本公庫」）熊本支店農林水産事業と農林中央金庫（以下「農林中金」）福岡支店は、2020年7月の県南豪雨災害で被災した球磨村森林組合（（代表理事組合長：蔀初美（シトミハツミ）、以下「当組合」））に対して、製材加工施設の復旧事業に連携して融資支援しましたので、お知らせいたします。

《ポイント》

○ 2020年7月の県南豪雨被害で操業停止した製材加工場の復旧事業を実施

熊本県南部に位置する球磨村は、村のほぼ中央に日本三大急流の球磨川が南北に流れており、球磨川流域以外の大半は森林面積が占める等、林業や観光業が主要産業となっています。

当組合は、森林資源の保育・育林・伐採等を行う森林整備事業や、森林資源の付加価値向上・有効利用を図る製材加工事業が主力事業となっているほか、九州最大の鍾乳洞「球泉洞」や森林レクリエーション施設等の運営を行う森林観光事業を行っており、村の主要産業をけん引する存在となっています。

かかるなか、2020年7月に県南豪雨災害により、球磨川の氾濫や土砂崩れ等で村内全域に甚大な被害が発生。当組合も事務所や製材加工場のほか、球泉洞が土石流に巻き込まれる等の甚大な被害が発生し、製材加工事業や森林観光事業は活動停止を余儀なくされました。

しかし、2021年5月には村の復旧・復興事業に取り組む労働者向けに食事処「幸盛堂」をオープンする等、村の復旧・復興に取り組んだ結果、2022年4月には球泉洞の営業を再開することができました。

そして、今回補助事業（経済産業省のなりわい再建支援事業、林野庁の木材流通施設復旧対策事業）を活用して製材加工施設の復旧投資を行い、2022年6月より本格的な操業再開に至りました。

当組合の犬童大輔（インドウダイスケ）参事は、「被災直後は、今後製材加工事業を復旧できるか先行きが見えなかったが、今回行政や金融機関等多数の方の支援があり復旧することができた。現在ウッドショックや円安の影響で国産材の引き合いも強く、今後も営業を強化する等して販売にも力を入れたい。また、豊富な森林資

源の継続的循環を保ちつつ最大限に活用することで、引き続き地域の雇用創出や林業振興に貢献したい。」と語っています。

○ 日本公庫・農林中金が連携して支援

日本公庫と農林中金は、当組合がこれまで取り組んできた事業等の経営実績のほか、自然災害で甚大な影響を受けながらも反転攻勢に取り組む前向きな事業計画、その実践に伴う地域林業への貢献等を高く評価し、今般製材加工施設の復旧事業に対して、2022年2月に日本公庫の農林漁業施設資金を融資しました。

農林中金は、上記資金の融資にあたっての窓口金融機関として当組合および日本公庫と連携して対応したものです。

日本公庫は、国の政策金融機関として、農林水産業者の生産性向上を後押しするとともに、今後も民間金融機関等と連携し、農林漁業者の皆さまへの経営支援や融資を積極的に行ってまいります。

また、農林中金は、引き続き農林水産業協同組合の金融機関として、資金支援を中心とした多様なソリューションの提供を通じて、農林水産業の成長産業化に取り組んでまいります。

【融資先の概要】

名 称	球磨村森林組合（代表理事組合長：荻初美）
住 所	熊本県球磨郡球磨村大字神瀬甲 1 1 3 0
事業内容	森林整備事業、製材加工業、森林観光事業等
投資計画	県南豪雨で被災した製材加工場の復旧事業

【写真】



<お問い合わせ先>

- 日本政策金融公庫 熊本支店 農林水産事業 Tel：096-353-3108（担当：川崎、藤崎）
〒860-0801 熊本市中央区安政町4-22（4階）
- 農林中央金庫福岡支店営業第五班 Tel：092-271-2114（担当：丸山、城石）
〒812-0028 福岡県福岡市博多区須崎町2-5